



# 第16回イラク・日本合同学術会議

## The 16<sup>th</sup> Iraq-Japan Joint Academic Conference

“Current Situation of the Japanese Studies in Iraq”

「日本とイラクの歴史学、地域研究、考古学、教育学における学術交流：イラクでの日本研究と日本語教育の現状を中心に」



日時：2025年12月6日(13:00-17:30)

7日(10:00-18:00)

会場：早稲田大学 第3号館10階 会議室1



科研費  
KAKENHI

### プログラム(Day 2)

12月7日 Panel 2: イラクでの日本研究の現状 Development of Studies on Japan and Japanese language in Iraq

B. Ansaf (Univ. of Baghdad) / 大野翔太朗 (JICA) / A. Sachit (UoB) / M.al-Qaysi (Univ. of Baghdad) / A. al-Ameri (Mustansiriya Univ.) / N. al-Karawi (Iraqiya Univ.)

### Panel 3: 考古学の過去と現在

Archaeological Research in Iraq; Past and Present

L. Hussein (Univ. of Baghdad) / 小口和美(国士館大学) / 川上直彦(長崎国際大学)

### Panel 4: クルド研究 Kurdish Studies

in Japan and Situation in Northern Iraq  
M. Khalili (東京外国語大学) / G. al-Khattawi (Univ. of Baghdad) / S. Ahmadian (東京外国語大学)

### プログラム(Day 1)

12月6日 Panel 1: 戦争と和解

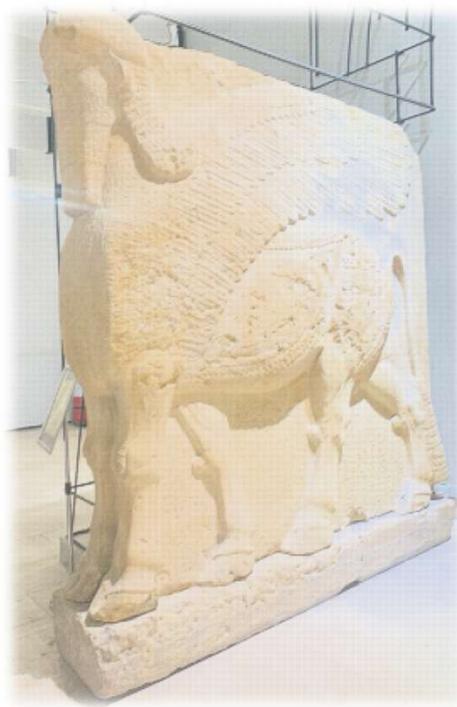
War Memory and Reconciliation of Post-war Japan and Iraq

小熊英二(慶應大学) / 浅野豊美(早稲田大学) / 梅森直之(早稲田大学)

M.al-Qaysi (Univ. of Baghdad) / A. al-Ameri (Mustansiriya Univ.) / 酒井啓子(千葉大学)

共催：国際交流基金日本研究プロジェクト助成プログラム

科学研究費・国際先導研究(23K20033)「普遍的価値と集合的記憶を踏まえた国際和解学の探求」(代表 浅野豊美) / 基盤研究A(24H00136)「政治的危機下の拡大中東からの移民難民におけるネイション意識と知の生産メカニズム」(代表 酒井啓子)



2007年以来バグダード大学を中心としたイラク有数の大学における研究者と、日本の中東研究を始めとして歴史学、地域研究、考古学、教育学などの研究者を交えて、日本・イラク学術合同会議はこれまで15回にわたり、イラクあるいは日本国内で実施されてきました。

本年は、国際交流基金と早稲田大学の協力を得て、「イラクにおける日本研究の現状」をテーマとし、日本とイラクの研究協力の推進を目的として日本・イラク合同学術研究ワークショップを開催します。

みなさまの積極的なご参加を、お待ちしております。(千葉大 酒井啓子)  
(問い合わせ先: center-glbl@chiba-u.jp)

## 主要登壇者紹介



イラク側 : Baha al-Ansaf バグダード大学学長  
Ali al-Sachit バグダード大学文学部長

Laith Hussein バグダード大学アラブ復興センター長

Mahmoud al-Qaysi バグダード大学文学部

Alaa al-Ameri ムスタンシリーヤ大学文学部



日本側 : 浅野豊美 早稲田大学政治経済学術院

梅森直之 早稲田大学政治経済学術院

小熊英二 慶應義塾大学総合政策学部

大野翔太朗 JICA中東二課長

小口和美 国士館大学グローバルアジア研究科

川上直彦 長崎国際大学 人間社会学部

酒井啓子 千葉大学グローバル関係融合研究センター長

